

(一社)世界文化遺産地域連携会議 2022年度総会資料

新メンバーのご紹介

(議案1) 役員改選について

(議案2) 2021年度事業報告

(議案3) 2021年度決算報告

(議案4) 2022年度事業計画

(議案5) 中長期的課題について

(議案6) 2022年度予算

新メンバーのご紹介(2021年度総会以降)

櫻田 宏(青森県弘前市長) ○
小又 勉(青森県七戸町長) ○
小野寺美登(岩手県一戸町長) ○
津谷 永光(秋田県北秋田市長) ○
阿施 智行(ラオックス・メディアソリューションズ代表取締役)
内海 一郎(三重県東紀州振興課長補佐)
浜野 伸二(NHK プロモーション 常務取締役展博事業本部長)
平井佳亜樹(一般社団法人・西芳会)

※定款により、○印の各位は理事に

※発足10周年を機に民間メンバーにつき継続意思確認を実施した

(議案1) 理事等の選任について

※2022年度は理事の改選期にあたる

ご参考(一社・世界文化遺産地域連携会議定款; 2018年制定)

第16条(役員) 当法人に次の役員を置く。

- 1 理事:世界文化遺産を持つ市町村長および民間人若干名
- 2 代表理事:1名

第17条(任期)

- 1 理事の任期は、選任後2年以内の最終の事業年度に関する定時社員総会の終結の時までとし、再任を妨げない。
- 2 理事が、辞任等により定員を欠くに至った場合には、新たに選任された者が就任するまでは、その職務を行う権利義務を有する。

第18条(理事・職務権限)

- 1 理事は、社員総会の決議によって社員の中から選任する。
- 2 理事は、当法人に関する業務執行を行う。

第19条(代表理事・職務権限)

- 1 当法人は、代表理事1名を置き、理事の互選によって定める。
- 2 代表理事は、当法人を代表し、当法人の業務を統括する。

(一社)「世界文化遺産」地域連携会議 組織の現状(2022年6月30日現在)

顧問	松浦晃一郎（元・ユネスコ事務局長）
代表理事	門川大作（京都市長）
副代表理事	松井一實（広島市長）、仲川げん（奈良市長）、清元秀泰（姫路市長） 粉川昭一（日光市長）、中西和夫（斑鳩町長）
理事	櫻田宏（青森県弘前市長） 小又勉（青森県七戸町長） 小野寺美登（岩手県一戸町長） 津谷永光（秋田県北秋田市長） 青木幸保（平泉町長） 榎本義法（富岡市長） 臂泰雄（伊勢崎市長） 新井雅博（藤岡市長） 原秀男（下仁田町長） 服部征夫（東京都台東区長） 堀内茂（富士吉田市長） 渡辺喜久男（富士河口湖町長） 望月幹也（身延町長） 高村正一郎（山中湖村長） 田辺信宏（静岡市長） 須藤秀忠（富士宮市長） 村田悠（裾野市長） 勝又正美（御殿場市長） 小長井義正（富士市長） 池谷晴一（小山町長） 成原茂（白川村長） 田中幹夫（南砺市長） 佐藤健司（大津市長） 松村淳子（宇治市長） 河上敢二（東紀州地域振興公社理事・熊野市長） 中井章太（吉野町長） 車谷重高（天川村長） 真砂充敏（田辺市長）、 堀順一郎（那智勝浦町長） 平野嘉也（高野町長） 井潤誠（白浜町長） 永藤英機（堺市長） 松本太郎（廿日市市長） 楫野弘和（大田市長） 野田武則（釜石市長） 山下正行（伊豆の国市長） 田中文夫（萩市長） 福田健次（中間市長） 坂井英隆（佐賀市長） 田上富久（長崎市長） 守田憲史（宇城市長） 下鶴隆央（鹿児島市長） 伊豆美沙子（宗像市長） 原崎智仁（福津市長） 朝長則男（佐世保市長） 黒田成彦（平戸市長） 松本政博（南島原市長） 野口市太郎（五島市長） 馬場昭治（天草市長） 城間幹子（那覇市長） 中村正人（うるま市長） 古謝景春（南城市長） 久田浩也（今帰仁村長） 浜田京介（中城村長） 比嘉孝則（北中城村長） 石嶺傳實（読谷村長） 有川雄二郎（元・SAP代表） 井戸智樹（一社・地域連携研究所代表理事） 大社充（DMO推進機構代表理事） 熊倉浩靖（高崎商科大学特任教授） 後藤治（工学院大学理事長・総合研究所教授） 島川崇（神奈川大学国際日本学部教授） 藤本貴也（全国街道交流会議代表幹事）

(※花岡拓郎・毛利和雄の両氏は退任)

社員

朝廣佳子（読売奈良ライフ代表）、阿施智行（ラオックス・メディアソリューションズ代表取締役）、安藤周治（ひろしまNPOセンター代表・NPOひろしまね理事長）、石丸美穂子（熊野古道ガイド）、糸永正之（アラスカ大フェアバンク校特別顧問）、乾昌弘（明新社社長：奈良）、入江田翔太（MEBUKU 代表取締役）、岩垣保（テレビマンユニオン・世界ふしぎ発見プロデューサー）、植木孝（株・地球の歩き方 旅行マーケティング部）、上野誠（国学院大学教授）、

内山裕紀子（くまの体験企画代表）、内海一郎（三重県東紀州振興課長補佐）、大國晴雄（前・大田市教育長）、大窪健之（立命館大学研究部長）、大田原功（今帰仁グスクを学ぶ会理事長）、大山耕介（月刊「歴史街道」編集長）、岡井健（NPO日光門前まちづくり理事長）、緒方修（NPOアジアクラブ理事長・日本GNH学会会長：沖縄）、小川登志子（富士宮市観光協会会長）、小野寺郁夫（小野寺設計室代表：平泉）

片上敏喜（日本大学生物資源科学部食品ビジネス学科 助教）、上村大平（斑鳩商工会事務局長）、川崎阿久里（世界文化社グループ・世界文化社・編集プロモーション部）、木谷俊樹（読売テレビ「情報ライブ ミヤネ屋」プロデューサー）、桐野耕一（長崎コンプラドル代表）、久遠裕子（株式会社ユニバーサルワーカーズ取締役、軍艦島コンシェルジュ・統括マネージャー、軍艦島デジタルミュージアム・プロデューサー）、久保哲矢（NAKED エグゼクティブ・プロデューサー）、久保美智代（旅する世界遺産研究家、アナウンサー・キャスター）、小池秀明（NPO日光門前まちづくり事務局長）、小泉和子（フォーリン・プレスセンター広報戦略課長）

佐滝剛弘（京都光華女子大学キャリア形成学部教授・NPO産業観光学習館専務理事）。塩見正成（大阪観光局マーケティング事業部長・JTB）、城之内ミサ（音楽家・ユネスコ平和芸術家）、須藤元（ジェイキャスト顧問）、高橋一夫（近畿大教授）、高橋史郎（早稲田大学国際教養学部事務長）、多田稔子（田辺市熊野ツーリズムビューロー会長）、多田みのり（歴史と旅のライター・奈良市観光使）、辰巳裕（NPO奈良好き人のつどい理事長）、田中恭一（一般社団法人総合研究フォーラム・コーディネーター）

田中俊徳（九州大学アジア・オセアニア研究教育機構准教授）、谷博子（元JNTOソウル事務所長）、長南哲生（日光世界遺産の会）、土居好江（一般社団法人京すずめ文化観光研究所代表）、富井義夫（世界遺産写真家）、中野秀俊（旅行読売メディアプロモーション部）、中村直美（交通新聞社常務取締役第2出版事業部長）、中山栄一郎（歴史と出会うまちづくり船場城西の会：姫路）、滑田教夫（京都旅企画代表）、野添ちかこ（ライター）

野々村邦夫（日本地図センター顧問）、花井正光（琉球弧世界遺産フォーラム代表、元琉球大学教授）、浜野伸二（NHK プロモーション常務取締役事業本部長）、平井佳亜樹（一般社団法人・西芳会）、福井善朗（山陰インバウンド機構代表理事）、三島敏樹（白川郷・田島家養蚕展示館館長）、三石学（熊野旅の文化企画代表）、皆川広一（さくらFM 代表取締役）、宮澤光（NPO世界遺産アカデミー主任研究員）、宗田好史（京都府大名誉教授）

村田武一郎（奈良フェニックス大学運営委員長）、矢野純一（フォーリンプレスセンター 取材協力課長）、山上直子（サンケイ新聞論説委員）、山内道美（今帰仁グスクを学ぶ会前・事務局長）、吉永憲（共同ピーアール）、渡邊智彦（一般社団法人京すずめ文化観光研究所）

監事 寺田昭一

(議案2) 2021年度 事業報告

1 会設立10周年

(1) 10年のあゆみパンフレットの制作

(2) 告知広告(月刊歴史街道)



2 連携・交流

(1) メーリングリストの継続

通算利用回数1029回

(2) 総会(6月7日:会の創立記念日にリモート開催)

(3) 交流会(新型コロナのため実施できず)

(4) 第8回世界遺産サミット

富士宮市で実施準備を進めていたが、新型コロナの流行により中止を余儀なくされ、分科会のみをリモートで開催(10月28日)。内容を YOUTUBE にて一般公開した。

 世界遺産サミット リモート分科会 第1分科会 世界遺産地域における都市計画と景観形成	https://youtu.be/y38p1DAf2hs https://youtu.be/JrrQjcl2bfo
--	---

第8回世界遺産サミット(リモート分科会)
第1分科会(世界遺産地域における都市計画と景観形成) 日光の社寺 岡井健(NPO 日光門前まちづくり理事長) 富士山 芦澤英治(富士宮市副市長) 近畿の事例紹介 井戸智樹(一社・地域連携研究所代表理事) 明治日本の産業革命遺産 柏本秋生(萩市文化財保護課統括専門職) 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産 植野健治(平戸市文化課) コーディネーター 島川崇(神奈川大学教授) 第2分科会(世界遺産を守り活かすソフト事業) 北海道・北東北の縄文遺跡群紹介 多田みのり(歴史と旅のライター) 富士山 小川登志子(富士宮市観光協会会長) 紀伊山地の霊場と参詣道 内山裕紀子(くまの体験企画代表) 百舌鳥・古市古墳群 藤岡千紋(堺市世界遺産課) 厳島神社 棚田久美子(廿日市市環境産業部長) コーディネーター 久保美智代(旅する世界遺産研究家)

3 要望活動

要望書を作成し、世界遺産議連メンバーおよび各省庁関係部署に送付した。

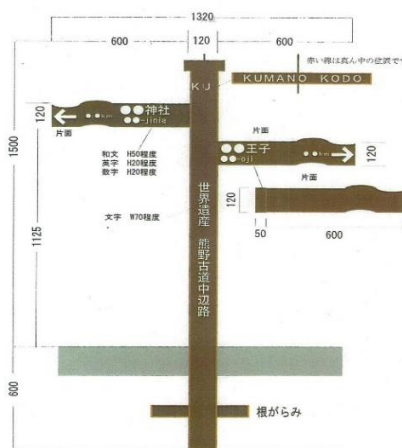
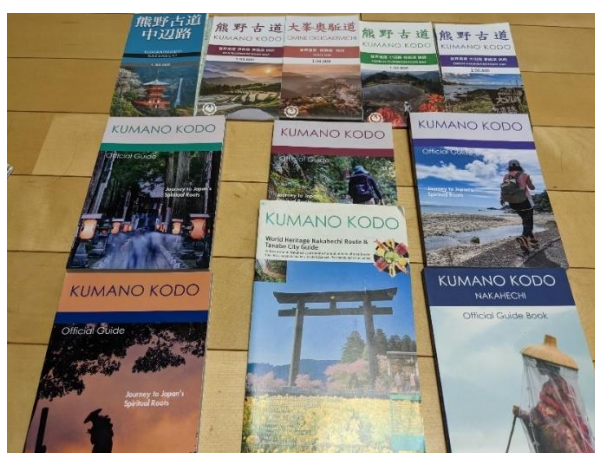
要望内容(世界文化遺産の永続的保全とその持続的活用を目指して)

- (1)世界遺産と新幹線のコラボ
- (2)「世界遺産リレー催事」への支援継続
- (3)海外への世界遺産情報発信予算(国費)の確保
- (4)「世界遺産特別法」の制定等
- (5)世界遺産を核とした都道府県資源の再整理
- (6)各遺産別の現況と要望内容

4 遺産ごとの課題解消

(1) 紀伊山地の霊場と参詣道PT

- ①外国語公式ガイドブックの制作(オール熊野古道ガイドブック:英・仏・西)
- ②古道ごと MAP の制作(同)
- ③外国語案内標示の設置(新規分として中辺路・大辺路の白浜・那智勝浦エリアに30基)

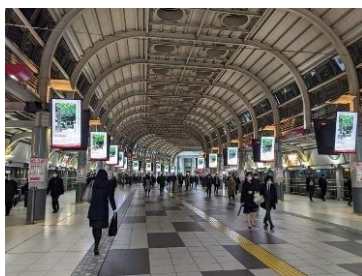


(2) 斑鳩PT

- ①奈良・斑鳩里めぐり MAP(韓国語)の制作
- ②海外見本市等への出展(台湾三越)
- ③海外メディアでの記事掲載(JapanTravel:英語、MATCHA:英語・中繁・中簡・タイ語)

(3) 石見銀山PT

首都圏主要18駅のデジタルサイネージにおける「西日本の世界遺産」連携広告
(7月5日～9月5日:写真左から品川駅・上野駅・明治神宮前駅)



(4)各地との意見交換等

遺産名	訪問日等
北海道・北東北の縄文遺跡群	7月29－31日（事務局合宿：外ヶ浜町・つがる市・弘前市・北秋田市・鹿角市・一戸町・八戸市・七戸町・青森市）
平泉	1月21日（平泉町ほか）
日光の社寺	1月20日（日光市ほか）
富岡製糸場と絹産業遺産群	11月25日（富岡市・世界遺産サミット打合せ）
国立西洋美術館	10月25日（登録5周年事業・国立西洋美術館パネル展） 11月25日（台東区・国立西洋美術館）
富士山	4－10月（富士宮市・世界遺産サミット打合せ）、5月1－3日（各地見学）
白川郷・五箇山	7月4日（南砺市・相倉集落特別一斉放水）
古都京都の文化財	4月30日（門川代表理事）、4月7日・6月2日・10月15日・1月11日（京都市）、11月12日（二条城まつり）、12月12日（勉強会）、11月13日（宇治市ほか）・3月6日・7日（社寺等）
古都奈良の文化財	11月14日（各社寺）・23日（平城宮跡歴史公園）
法隆寺地域の仏教建造物	4月4日（聖徳太子没1400年催事）
紀伊山地の霊場と参詣道	7月27日（PT委員会：田辺市・那智勝浦町・吉野町・十津川町・東紀州地域振興公社・熊野市ほか） 9月21－23日（尾鷲市・熊野速玉大社・那智勝浦町・白浜町・田辺市）
百舌鳥・古市古墳群	9月27日（堺市）、2月15日（世界遺産劇場）
姫路城	11月5・6日（姫路市・姫路城イルミネーション）
原爆ドーム	9月17日（広島市）
厳島神社	9月17日（廿日市市）
石見銀山	5月21－23日（大田市：映像撮影）
明治日本の産業革命遺産	5月3日（伊豆の国市）、6月18日（産業遺産国民会議）、7月28日（九州経済同友会）、9月14－15日（長崎・九州観光機構・九州経済連合会） 9月16日（萩市）、10月21日（総会）、10月28日（グラバー園）
「神宿る島」宗像。沖ノ島と関連遺産群	9月15日（宗像市・宗像大社）
長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産	9月14日（長崎県庁ほか） 11月28－30日（長崎市・南島原市・平戸市・天草市；映像撮影）
琉球王国のグスク及び関連遺産群	12月21－23日（那覇市・うるま市・北中城村・沖縄県・首里城公園）
国関係 ほか	6月16－18日、6月26日、7月1－2日、10月21－23日、11月24－26日、1月19日 （文化庁・日本博事務局・観光庁・総務省・JNTO・日本観光振興会・世界遺産議連・世界遺産劇場・世界遺産写真展・デジタルサイネージ関係等）



5 共同事業の推進

(1) 世界遺産リレー催事

世界遺産名 等	催事名（場所）等	実施時期	備考
世界遺産 桜リレー	今帰仁―鹿兒島・原城跡 ―姫路・京都・吉野―富 士山・伊豆の国―富岡・ 日光―平泉・橋野	1月末 ～5月中 旬	一部行事は中 止・縮小
平泉	世界遺産登録10周年事 業	4～12月	縮小
富岡製糸場と絹産業遺産 群	世界遺産劇場 IN 富岡製糸 場	秋	中止
国立西洋美術館	世界遺産登録5周年事業	7～1月	一部事業中止
富士山	世界遺産サミット	10月	縮小
白川郷・五箇山	オリパライヤー特別一斉 放水	5～11月	
古都京都の文化財	二条城夜会	10～12月	
古都奈良の文化財	なら燈花会 等	8月	縮小
法隆寺地域の仏教建造物	聖徳太子没1400年	4～12月	
百舌鳥・古市古墳群	世界遺産劇場 IN 百舌鳥古 墳群	2月	
紀伊山地の霊場と参詣道	御燈祭（神倉神社）	2月	縮小
姫路城	姫路城イルミネーション	10～11月	
原爆ドーム	原爆の日	8月	縮小
石見銀山	温泉津・夜神楽	通年土曜	
「神宿る島」宗像・沖ノ 島と関連遺産群	みあれ祭	10月	縮小
長崎と天草地方の潜伏キ リシタン関連遺産	サイレント・クリスマス	11～12月	一部事業中止
明治日本の産業革命遺産	春の共同キャンペーン	4～6月	一部事業中止
琉球王国のグスク及び関 連遺産群	首里城復興祭	10～11月	
その他	世界遺産写真展（東京ミ ッドタウン）	7月	



(2)情報発信

①HPの充実

<https://worldheritagejpn.com/>

「赤い糸」奥下和彦氏による各遺産のマークデザイン

× 11言語（日・英・中簡・中繁・韓・仏・独・伊・露・西・葡）

②映像制作

石見銀山×温泉津・夜神楽、サイレント・クリスマス（長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産）の2本を新規撮影。また、過去撮影分（白川郷・五箇山、姫路城、富士山、古都京都の文化財）と併せ、11言語のテロップを追加した。

③YOUTUBE 広告

東京五輪前の6月後半から7月にかけて、日本への航空路線を持つ都市を中心にドイツ・イタリア・ブラジル・ロシアおよび東京にて YOUTUBE 広告による映像発信を実施した。



(3) 世界文化遺産スタンプラリーの開始

3月、パンフレット19種類、スタンプ設置54箇所、リーフレット初回印刷数総数16.2万部でスタートを切った。

遺産名	スタンプ設置箇所
1 平泉	①平泉文化遺産センター
2 日光の社寺	②日光観光協会日光支部 (Mekke 日光郷土センター)
3 富岡製糸場と絹産業遺産群	③富岡製糸場 ④高山社跡 ⑤田島弥平旧宅案合所 ⑥荒船風穴見者広場
4 国立西洋美術館	⑦浅草文化観光センター ⑧台東区役所
5 富士山	⑨JR 新富士駅構内観光案内所 ⑩静岡市三保松原文化創造センター「みほしるべ」 ⑪富士山本宮浅間大社観光案内所「寄って宮」 ⑫裾野市観光協会 ⑬山中湖村観光案内所 ⑭身延観光案内所
6 白川郷・五箇山	⑮白川郷バスターミナル ⑯白川郷観光案内所 ⑰相倉集落駐車場内財団事務所
7 古都京都の文化財	⑱二条城 ⑲坂本観光案内所 ⑳お茶と宇治のまち歴史公園
8 古都奈良の文化財	㉑県営平城宮天平みつき館 ㉒JR 奈良駅観光案内所
9 法隆寺地域の仏教建造物	㉓法隆寺Ⅰセンター
10 百舌鳥・古市古墳群	㉔百舌鳥古墳群ビジターセンター
11 紀伊山地の霊場と参詣道	㉕世界遺産熊野本宮館 ㉖JR 紀伊勝浦駅観光案内所 ㉗高野町観光センター ㉘吉野町観光案内所 ㉙天川村総合案内所 ㉚道の駅 熊野・花の窟 ㉛三重県立熊野古道センター
12 姫路城	㉜姫路城登閣口横
13 原爆ドーム	㉝平和記念公園レストハウス
14 厳島神社	㉞TOTO 宮島おもてなしトイレ2F
15 石見銀山	㉟世界遺産センター
16 明治日本の産業革命遺産	㊱橋野鉱山インフォメーションセンター ㊲葦山反射炉ガイダンスセンター ㊳萩・明倫学舎 ㊴旧鹿児島紡績所技師館 (異人館) ㊵遠賀川水源地ポンプ室インフォメーションセンター ㊶グラバー園内旧三菱第二ドックハウス ㊷龍驤館
17 「神宿る島」宗像・沖ノ島と関連遺産群	㊸むなかた館 ㊹大島交流館
18 長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産	㊺長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産インフォメーションセンター ㊻春日集落案内所 ㊼黒島ウェルカムハウス ㊽有馬キリシタン遺産記念館 ㊾崎津資料館みなと屋
19 琉球王国のグスク及び関連遺産群	㊿首里杜館 (首里城公園レストセンター) 51 緑の館・セーファ 52 中城城跡入口財団事務所 53 あまわりパーク観光案内所 54 今帰仁村グスク交流センター



平泉



日光 (mekke 日光郷土センター)



富岡製糸場と絹産業遺産群



国立西洋美術館(浅草文化観光センター)



姫路城



奈良(旧奈良駅舎・観光案内センター)



原爆ドーム(平和公園レストハウス)



厳島神社



明治日本の産業革命遺産(グラバー園)



沖ノ島・宗像(大島交流館)



長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産

(議案3) (一社)世界文化遺産地域連携会議

2021年度決算報告

1 収入の部(単位:円)

項目	2021年度 決算額	2021年度 予算額	2020年度 決算額	2021決算額 備考
① 市町村長会費	1,280,000	1,370,000	1,370,000	※1
② 事業収入 (世界遺産リレー 催事实行委員会)	74,657,304 (45,468,000)	83,119,355 (43,419,355)	84,053,622 (53,441,510)	※2 ・リレー催事:国 28,468,000 円 地元負担催事 17,000,000 円 ・PT ごとの収支 は国庫返納分 含め均衡 ・日本観光振興 協会より
(紀伊山地 PT)	(22,928,260)	(31,595,000)	(22,240,700)	
(斑鳩 PT)	(3,464,044)	(5,608,000)	(5,874,412)	
(石見銀山 PT)	(2,497,000)	(2,497,000)	(2,497,000)	
(サミット協力金)	(300,000)			
③ 交流会費	0	0	0	
④ 寄付金	0	0	1,910,180	
⑤ 利息	148	0	92	
⑥ 繰越金	4,063,984	4,063,984	2,227,280	
収入計	80,001,436	88,553,339	89,561,174	

※1 市町村長会費の2021数値が前年より少ない理由

- ・前々年に振込みを忘れ、2か年分を2020年に支払った自治体が複数あったため
- ・2021年度内の振込ができなかった市町村があったため
- ・2021年度に新規登録となった縄文遺跡群関係市町につき、恒例により2021年度会費が免除されているため

※2 事業収入に予算との大きな差が出た理由

- ・海外関係の事業がコロナの流行により実施できなくなり、予定されていた事業中その部分が交付辞退案件となったため(例:紀伊山地PTにおけるサンチアゴ・デ・コンポステーラとの交流事業関係)

2 支出の部(単位・円)

項目	2021年度 決算額	2021年度 予算額	2020年度 決算額	備考(収入の部 ①④⑤⑥以外 に注釈)
1 要望活動費	112,142	200,000	114,965	21年は要望書 送付のみ
2 会議費	211,442	150,000	84,462	リモート総会、 プレスト合宿
3 イベント費	386,160	200,000	285,355	サミット協力金 に対応(②)
4 広報費 ・世界遺産 リレー催事 ・SNS ・十周年関係	46,032,826 (45,545,847) (25,679) (461,300)	43,949,355 (43,419,355) (30,000) (500,000)	53,633,525 (53,441,510) (31,525) (160,490)	・世界遺産リレ ー催事の収支 差額 77,847 円 は会が自己負 担
5 事業推進 (紀伊山地 PT) (斑鳩 PT) (石見銀山 PT) (その他)	28,942,084 (22,928,260) (3,464,044) (2,497,000) (52,780)	39,800,000 (31,595,000) (5,608,000) (2,497,000) (100,000)	30,860,512 (22,240,700) (5,874,412) (2,497,000) (248,400)	国への返還金 含め3PT の収 入に対応(②)
6 調査研究費	50,982	50,000	51,724	書籍・参加費・ 入場料等
7 旅費交通費	389,806	250,000	348,982	
8 通信費	40,893	50,000	28,382	
9 消耗品費	131,590	100,000	88,083	印刷・コピー等
10 その他	98,650	20,000	1,200	税・税理士・登 記・葬祭等
支出計	76,396,575	84,769,355	85,497,190	
次年度繰越金	3,604,861	3,783,984	4,063,984	
総計	80,001,436	88,553,339	89,561,174	

(議案4)2022年度 事業計画

1 連携・交流

(1)第9回世界遺産サミットの開催

世界遺産サミットin富岡(案)		※今後の調整過程で若干の変更が生じる可能性があります
1	日程	2022年10月29日(土): 富岡製糸場見学・分科会・交流会 10月30日(日): 基調講演・分科会発表・首長会議 エクスカーション(藤岡・伊勢崎コース、下仁田コース)
2	場所	富岡製糸場およびその周辺
3	基調講演	文化遺産の持続可能なマネジメント(仮題) 西山徳明氏(北海道大学観光学高等研究センター)
4	分科会	① 文化遺産の耐震対策 ○コーディネーター: 西川英佑氏(関西大学) パネリスト候補: 文化庁・平泉・富岡・文建協(姫路城修復担当)・石見銀山関係者 ② 文化遺産と地域コミュニティの参画 ○コーディネーター: 熊倉浩靖氏(高崎商科大学) パネリスト候補: 縄文遺跡群・日光・伊勢崎・白川郷五箇山・宗像関係者

※第10回(2023年度)開催地は斑鳩町を予定

(2)メーリングリストの継続

(3)総会・全体交流会

・・・8月29日にリモートにて開催

2 要望活動

・・・要望書を作成し、世界遺産議連・世界遺産サミット議連・文化庁・観光庁関係部署などに送付

3 遺産ごとの課題解消

- (1)斑鳩PT(継続)
- (2)石見銀山PT(継続)
- (3)各地域との意見交換

※文化庁「文化財総合活用事業」を活用して事業実施し、2017－2021にかけ紀伊山地の霊場と参詣道PTを運営してきたが、5ヶ年の事業であるため昨年度で一旦終了している。

また同じく斑鳩 PT、石見銀山 PT は2022年度終了予定となっている。

※同予算は①主体となるのが実行委員会など非行政組織、②100%補助、③最長5年間、④ただし新規案件については情報発信 NG。

関心ある地域・遺産は早めに事務局までご相談願いたい(例年の申請は12—1月)。

4 共同事業の推進

(1)世界遺産リレー催事

現時点でのラインアップ

- ① 世界遺産桜リレー (2～5 月中旬)
- ② 明治日本の産業革命遺産・春の共同キャンペーン (GW 中心に 4～6 月)
- ③ 平泉・藤原まつり (5 月)
- ④ 富士山お山開き (7 月)
- ⑤ 世界遺産写真展 (大阪：7～8 月)
- ⑥ 縄文まつり 2022 (7～10 月)
- ⑦ なら燈火会等 (8 月)
- ⑧ 広島・原爆の日 (8 月)
- ⑨ NAKED GARDEN - ONE KYOTO - (秋)
- ⑩ 宗像大社 みあれ祭 (10 月)
- ⑪ 姫路城イルミネーション (10～11 月)
- ⑫ 世界遺産サミット in 富岡 (10 月)
- ⑬ 首里城復興祭 (10～11 月)
- ⑭ 白川郷・五箇山 一斉放水 (10～11 月)
- ⑮ サイレント・クリスマス (11～12 月)
- ⑯ 御燈まつり (紀伊山地・神倉神社・2 月)
- ⑰ 世界遺産劇場 IN 百舌鳥古墳群 (未定)
- ⑱ 温泉津夜神楽 (石見銀山・通年)

(2)情報発信

① 11言語 HP の充実

北海道・北東北の縄文遺跡群の新規登録により世界文化遺産は日本史の各時代、また国土全域をカバーする存在となった。

このことを大きなチャンスと捉え、HP の改訂・充実に取り組む。

② 11言語テロップ入り映像の制作

本年度は平泉（5月）、古都奈良の文化財（8月）、北海道・北東北の縄文遺跡群（9月）、琉球王国のグスク及び関連遺産群を（10－11月）を予定。

次年度にかけ四季×3催事のラインアップ形成を目指す（○：本年度事業）。

春 富士山、石見銀山、○平泉

夏 ○北海道・北東北の縄文遺跡群、○古都奈良の文化財

秋 白川郷・五箇山、古都京都の文化財、○琉球王国のグスク及び関連遺産群

冬 姫路城、長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産

③ SNS 広告

・ YOUTUBE 広告などの継続。

・ 実施時期は10月後半～12月前半を予定。2019年にイギリス・フランス・スペイン、2020年に米国、2021度はデータ収集の観点からドイツ・イタリア・ロシア・ブラジルおよび東京（在留外国人含む）対象に実施して来ており、本年度は中国・台湾・韓国を対象に実施予定で予算獲得している。

・ どの遺産がそれぞれの国にヒットするか？

本年度は例えばキリスト教関係者（世界に23億人）の割合が多い韓国で潜伏キリシタンの「サイレント・クリスマス」映像を重点的に使用することなどを考えている。

・ 東アジア以上にすでに国際航空便が復活している国（例：オーストラリア）を優先すべきではないかといった意見があり、情勢を見つつ見直し含めた調整をおこなう。

④ JNTO（日本政府観光局）との関係強化

・ 世界遺産リレー催事実行委員会として JNTO に加盟し、海外事務所含めた情報発信サービスの積極活用を図る。

(3) スンプラリーの継続

①リーフレット等の補充・・・概ね四半期に一度実施。北海道・北東北の縄文遺跡群入りの新規リーフレットを作成するとともに、2021年配布分が不足しつつある所から補充をおこなう。

②JR、航空会社等交通機関とのコラボを提案する。

(4) 北海道・北東北の縄文遺跡群 登録への対応

①紹介文・マーク・スタンプ

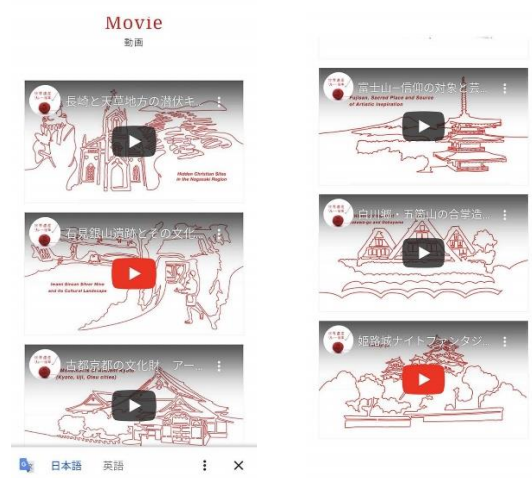
②世界遺産リレー催事<4-(1)>、映像<4-(2)-②参照>、スタンプリーフ(4-(3)-①参照>

③新規スタンプの制作と設置

弘前市・裾野地区体育文化交流センター
ニツ森貝塚館
御所野縄文博物館
伊勢堂岱縄文館

青森県弘前市十面沢轡 8-9
青森県上北郡七戸町字鉢森平 181-26
岩手県二戸郡一戸町岩館字御所野 2
秋田県北秋田市脇神字小ヶ田中田 100-1

④全体マークの改訂



(議案5) 中長期的課題について

○組織としての継続的課題は

- ①財政基盤の強化
- ②ロビイング力の確保(世界遺産議連関係ふくむ)
- ③新規メンバーへの声かけ(市町村、文化財・観光・交通・メディア関係者、DMO・催事主催者・スタンプ設置箇所関係者など)

○発足総会時に出的「アイデア」について(やってみたがうまく行かなかった分野ふくみ)ほほ一巡

この機会に是非、次の10年に向けた自由なアイデアを！

○共同事業分野の充実

- ①宗像市より「市民参加による世界遺産清掃活動」充実や「いい遺産の日(11月13日)制定への提案
- ②任意参加型の全体事業(例:世界遺産リレー催事・スタンプラリー)以外に、複数世界遺産による連携事業にも新しい可能性がある(例:近接遺産、近代化遺産)

○定款見直しの議論

現状の定款12条(議決権)では「各社員は、各1個の議決権を有する」とあり、民間メンバーと各市区町村が等しく1議決権を有しているため、特に書面決議等をおこなう際の官民不均衡の問題が指摘されている。

現時点では継続意思確認後の民間メンバーが約70名となっているためかなり均衡が取れているものの、今後、民間メンバーが従来の100名程度に増加する可能性があるのに対し、市区町村数が大きく増加する可能性は低いため、次年度にかけこの部分の規約改訂(例:「理事は2個の議決権」、市町村会費「1口(1万円)につき議決権1」…)を議論しておくことが望ましいのではないかと考えられる。

○

○

(議案6) (一社)世界文化遺産地域連携会議

2022年度予算

1 収入の部(単位・円)

項目	2022年度 予算額	前年度 決算額	前年度 予算額
①市町村会費	1,370,000	1,280,000	1,370,000
②事業収入	50,106,000	74,657,304	83,119,355
・世界遺産リレー 催事実行委員会	(42,662,000)	(45,468,000)	(43,419,355)
・紀伊山地 PT	(0)	(22,928,260)	(31,595,000)
・斑鳩 PT	(3,484,000)	(3,464,044)	(5,608,000)
・石見銀山 PT	(3,960,000)	(2,497,000)	(2,497,000)
・サミット助成金	(0)	(300,000)	(0)
③交流会費	0	0	0
④寄付金	0	0	0
⑤利息	0	148	0
⑥繰越金	3,604,861	4,063,984	4,063,984
収入計	55,080,861	80,001,436	88,553,339

2 支出の部(単位・円)

項目	2022年度 予算額	前年度 決算額	前年度 予算額	備考(主には収入の 部①④⑤⑥に対応)
1 要望活動費	120,000	112,142	200,000	冊子作成・筆耕・郵送
2 会議費	250,000	211,442	150,000	総会ほか
3 イベント費	200,000	386,160	200,000	サミット協力等
4 広報費	43,167,968	46,032,826	43,949,355	収入の部②に対応 リレー催事補助予算 27,662,000 円。差額は 自己負担分と(各地元 負担の)催事費用
・リレー催事	(42,937,968)	(45,545,847)	(43,419,355)	
・HP	(30,000)	(25,679)	(30,000)	
・その他	(200,000)	(461,300)	(500,000)	
5 事業推進費	7,474,000	28,942,084	39,800,000	収入の部②に対応 終了
・紀伊山地 PT	(0)	(22,928,260)	(31,595,000)	
・斑鳩 PT	(3,484,000)	(3,464,044)	(5,608,000)	
・石見銀山 PT	(3,960,000)	(2,497,000)	(2,497,000)	
その他	(30,000)	(52,780)	(100,000)	国予算対応不能分
6 調査研究費	50,000	50,982	50,000	参加費・入場料等
7 旅費交通費	250,000	389,806	250,000	別途、リレー催事予算 内に 1,191,590 円計上
8 通信費	50,000	40,893	50,000	
9 消耗品費	100,000	131,590	100,000	事務機材・文具・コピ ー等
10 地代家賃	260,000	0	0	貸倉庫・貸金庫
11 事務雑費	100,000	98,650	20,000	税、税理士、登記変 更、振込料等
支出予算計	52,021,968	76,396,575	84,769,355	
次年度繰越金	3,058,893	3,604,861	3,783,984	
総計	55,080,861	80,001,436	88,553,339	

